

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

記入例2
(一括徴収の場合)

令和5年9月1日提出		支払者 加徴収者	所在地	〒745-XXXX				特別徴収義務者 指定番号	70XXXXXX										
			フリガナ	周南市△△町△△番地				宛番号											
			氏名又は名称	〇〇〇〇株式会社				担連 当絡 者先	所属	人事課給与係									
			個人番号 又は法人番号	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				氏名	周南 花子										
				XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				電話	(0834) XX-XXXX 内線 ()										
給与 所得 者	フリガナ	シュウナン タロウ		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)	異動 年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法										
	氏名	周南 太郎																	
	生年月日	〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日																	
	個人番号	XXXXXXXXXXXX																	
	受給者番号																		
	1月1日 現在の住所	周南市〇〇町〇丁目〇番地																	
異動後の 住所	周南市〇〇町〇丁目〇番地		円	48,000	6月 9月	10月 5月	5年 9月 30日	1 右から 番号を 記入	2 右から 番号を 記入										

1. 特別徴収継続の場合

新しい 勤務先 (特別 徴収 義務 者)	特別徴収義務者 指定番号	7	退職後は、月割額 _____ 円を 翌月10日納入期限分) から するよう連絡済みです。			
	所在地	〒				
	フリガナ					
	氏名又は名称					
	先	電話	内線 ()	納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	<input type="checkbox"/> 右から 番号を 記入	1. 必要 2. 不要

退職後、令和6年5月31日までに支払われる給与又は退職手当等から未徴収税額を一括徴収する場合には、「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄の枠内に「2」と番号を記入するとともに「2. 一括徴収の場合」欄に必要事項を記入してください。

2. 一括徴収の場合

理由	1 右から 番号を 記入	1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 10月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
		2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	10 月 2 日	32,000 円	

3. 普通徴収の場合

理由	<input type="checkbox"/> 右から 番号を 記入	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため	市町村 記入欄	年度 →
		2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため		<input type="checkbox"/> 普徴 → <input type="checkbox"/> メモ
		3. 死亡による退職であるため		<input type="checkbox"/> 処理済み
				<input type="checkbox"/> 納入書送付 (月 日)